

学校全体の取り組み

授業規律について	① 指名されてから発言させる。 ② 「はい」は一回または黙って挙手をさせる。 ③ 指名されたら「はい・立つ・です」 ④ みんなに聞こえる声の大きさを発言させる。(声のものさしの活用) ⑤ 発言している人の方を向いて聞かせる。
持ち物について	① 4月に決めた物を持ってきているのかを探察、または点検する。そして、不要な物を持ってこさせない。 ② 机の横にたくさんの物をかけさせない。 ③ 道具をわすれたときには報告させる。
掲示について	① 教室の前面はシンプルにする。
ノートについて	① 日付を書かせる。 ② 線を引くときは定規を使わせる。 ③ ノートの書き方を指導する。

評語	説明
A	十分に改善や工夫をした
B	おおむね改善や工夫をした
C	改善や工夫の努力が足りなかった
D	改善や工夫をしなかった

		評価		
		2学期	3学期	
5年	<p>思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>針を持つこと、ミシンの使用、調理器具やガスコンロを使うことなど、初めての学習に興味をもちながら取り組んでいる。</li> <li>生活経験が有る無しで、作業上の進み具合に個人差ができてしまっている。</li> <li>一斉指導の中では、作業になると図や絵を用いた掲示を使用しても、なかなかイメージができず、個別の支援が必要な児童がいる。作業に自信のなさがみられ、一つ一つを個々の確認しないと先に進めない面も見られる。</li> <li>持ち物の管理が難しい状況がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生からの学習であり、興味や関心がみられる良さを継続できるように、経験することが大切と考え、実習の機会を多く作り、繰り返し実践できるように作業時間を確保していくよう心がける。</li> <li>生活経験の有無を補うように、包丁、ガス台の使い方、針やミシンの使用法など全員が体験する機会を丁寧にとる。</li> <li>学級の人数が多く、個別に対応する時間が限られるため、担任との連携をとり個々の児童の状況を事前に把握し支援を考えておく。また、教え合う良さを伝え、児童同士の教え合いを進める。</li> <li>学年共通でA3ファイルを個々に用意してもらい、学習プリントをファイルしていくようにし、学習の積み重ねを実感でき、持ち物を管理する力に繋がられるようにする。</li> </ul>	B	B
6年	<p>思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年生で学習したことを思い出しながら、調理実習やミシン縫いを進めることができる。</li> <li>実習を伴わない学習では、興味関心が続かない児童がみられる。</li> <li>学習したことを生かして実生活でも実施したいと考える児童や工夫して作品を作りたいと思う児童がみられ、意欲的な様子が見られる。</li> <li>裁縫用具を使用した作業では、進み具合に個人差ができています。</li> <li>5年生のときにプリントなどの保管に苦労している児童がみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生で学習してことを生かす良さを実感できるような学習を工夫する。</li> <li>栄養素を分けるゲームや道具・用具当てクイズなど活動を取り入れ、興味が続くような学習展開を工夫する。</li> <li>学習を生かすことの良さを伝え、事例を紹介していく。</li> <li>繰り返し作業し練習できる時間を確保するようにする。</li> <li>学年共通でA3ファイルを個々に用意してもらい、学習プリントをファイルしていくようにし、学習の積み重ねを実感できるようにする。</li> </ul>	B	B